

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 12 日現在

機関番号：15401

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2012～2014

課題番号：24653278

研究課題名(和文)「見えない学力」を含めた「新音楽学力調査」の開発と実施

研究課題名(英文) the development and implementation of "new test of music academic abilities"  
include hidden academic abilities

研究代表者

吉富 巧修 (YOSHITOMI, KATSUNOBU)

広島大学・教育学研究科(研究院)・名誉教授

研究者番号：20083389

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円

研究成果の概要(和文)：音楽科の学力について見えない学力を含めて明らかにし、同時に、「新音楽学力調査」を作成し、実施した。さらに、昭和40年代に岐阜県古川小学校において開発・実践された「ふしづくりの教育」の成立・発展・消滅の要因について詳細に分析した。さらに、「ふしづくりの教育」の優れた成果を、小学校第1学年、第3学年、及び第4学年の実際の授業実践の映像・録音から解明できたことは大きな成果である。「ふしづくりの教育」についての多くの知見は、現代における音楽科の学力とは何かという課題と、それをどのように構築していくのかという方法論の2つの側面から、大きな光明をもたらすものである。

研究成果の概要(英文)：In this study, we clarified the music academic abilities with involvement of hidden academic abilities. All together, we developed the "new test of music academic abilities" and put into operation. Moreover, we discussed the formation, development, and extinguishment of "fushizukuri education" developed in Furukawa Elementary School in Gifu Prefecture from the late 1960's to the early 1970's with concrete data. It was also very significant that we could get better understandings of the extraordinary accomplishments of "fushizukuri education" by analyzing videos and a tape with actual coursework of 4th grade, 3rd grade, and 1st grade. Great number of findings from "fushizukuri education" will shed light on the following two issues; what music academic abilities in modern are, and the methodology how those abilities should be build up.

研究分野：音楽科教育

キーワード：音楽科教育 音楽科の学力 見えにくい学力 「ふしづくりの教育」 岐阜県古川小学校

### 1. 研究開始当初の背景

わが国の音楽科教育の内容について検討すると、小学校学習指導要領・音楽科で示された内容のほとんどは、抽象的で不明確である。目標と内容で具体的で明確なものうち、最も重要なものは、「八長調及びイ短調の楽譜を見て歌う」というものである。

これまでに文部省・文部科学省が実施した全国学力調査のうち、音楽科が採用された3回の全国学力調査では、すべて「八長調及びイ短調の楽譜を見て歌う」という内容は、調査対象から除外されていた。

我々は、この「八長調及びイ短調の楽譜を見て歌う」という内容こそが、音楽科学力の中核となるものであると考える。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、音楽科における「みえる学力」と「みえない学力」を評価する方法を開発し、評価のための調査を実施し、最終的に的確に評価することである。「みえる学力」とは、ペーパー試験等でその学力が獲得されたかどうかを容易に測定できる学力である。小学校学習指導要領・音楽科に明示されている、和音記号、音符・休符・記号等の理解がこれである。「みえない学力」とは、音楽に感動する力や音楽に対する感受性である。小学校学習指導要領・音楽科の目標に示された、「心情」「感性」「情操」がこれである。これらに加えて、「みえにくい学力」がある。視唱力のように、それを明らかにするためには、膨大な時間と人手を必要とする学力がこれである。これら3つの学力は、音楽科教育にとって、どれもが必要不可欠な学力である。

### 3. 研究の方法

ドイツのアビトゥーア試験、イギリスのGCSE 試験、アメリカの全米学力調査 (NAEP) 音楽試験から、「みえない学力」「みえにくい学力」の評価方法を学ぶ。これらの知見を加味して「新音楽学力調査」を開発・作成し、本実施する。

さらに、昭和40年代に岐阜県古川小学校で開発・実践され、大きな成果を挙げた「ふしづくりの教育」のカリキュラムや実際の授業の分析によって、「八長調及びイ短調の楽譜を見て歌う」という内容や音楽科学力獲得にいたる方法論を明らかにする。

### 4. 研究成果

「新音楽学力調査」は順調に完成し、中学校第1学年と小学校第6学年を対象として実施され、成果を挙げることができた。

岐阜県古川小学校の「ふしづくりの教育」の成立・発展・消滅についても、インタビュー調査や当時の史料の発掘によって、多くの知見を得ることができた。特に、これまで知られていたカリキュラムに加えて、「ふしづくりの教育」の実際の授業の分析によって、「ふしづくりの教育」の特徴の事

実を発見できたことは、大きな成果であった。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 18件)

三村真弓、吉富功修、伊藤真、井本美穂、岐阜県古川小学校における「ふしづくりの教育」の音楽教育及び人間教育としての意義 - 昭和40年代後半の音楽科授業の実際注目して -、音楽学習研究、査読有、10巻、2014、61 - 72、

DOI: なし

伊藤真、別府祐子、三村真弓、吉富功修、生涯音楽学習における学習動機が積極性と継続意思に及ぼす影響 - アマチュア混声合唱団の活動を事例として -、音楽学習研究、査読有、10巻、2014、1 - 10、

DOI: なし

松本進乃助、松本進、三村真弓、伊藤真、吉富功修、常葉大学附属小学校におけるオーケストラ学習が育む音楽能力 - 聴取力に着目した音楽科学力調査の結果から -、音楽学習研究、査読有、10巻、2014、29 - 38、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、1960年代の東京教育大学附属小学校音楽科における基礎能力観 - 『音楽科 基礎能力と授業構造』に着目して -、教育学研究紀要 (CD-ROM版)、査読無、60巻、2014、481 - 486、

DOI: なし

吉富功修、三村真弓、伊藤真、井本美穂、わが国の音楽科教育における学力観、教育学研究紀要 (CD-ROM版)、査読無、60巻、2014、487 - 492、

DOI: なし

三村真弓、ロサリオ・マルティネス、アナ・ファレス、吉富功修、伊藤真、ジュゼプ・フェラン・ガリシア、子どもが育つ音楽教育 - スペイン・カタルーニャ州グラノリエース市のペラアントン校における実践 -、音楽教育学、査読無、44巻2号、2014、85-89、

DOI: なし

吉富功修、三村真弓、伊藤真、井本美穂、歌唱教材の音高が幼児の歌唱の正確さに与える影響、広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学研究紀要、査読無、 巻、2014、1 - 14、

DOI: なし

伊藤真、三村真弓、吉富功修、音楽経験が音楽を感受する能力に与える影響、音楽学習研究、査読有、9巻、2013、1 - 12、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、伊藤真、昭和30年代～50年代の岐阜県飛騨地方における中村好明の音楽教育観、音楽学習研究、査読有、9巻、2013、37 - 48、

DOI: なし

吉富功修、三村真弓、幼児の歌唱の実態に関する研究(1) - 高岡市国吉光徳保育園でのクラス歌唱を対象として -、査読無、教育学研究紀要(CD-ROM版)、59巻、2013、616 - 621、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、伊藤真、田中教育研究所音楽研究部編『音楽素質診断テスト』に関する研究、教育学研究紀要(CD-ROM版)、59巻、2013、622 - 627、

DOI: なし

吉富功修、三村真弓、岐阜県古川小学校の「ふしづくりの教育」を支えた中家一郎校長の音楽教育観(1)、広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学研究紀要、査読無、

巻、2013、37 - 44、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、岐阜県古川小学校の「ふしづくりの教育」を支えた中家一郎校長の音楽教育観(2)、広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学研究紀要、査読無、

巻、2013、45 - 52、

DOI: なし

伊藤真、三村真弓、吉富功修、聴取力に着目した音楽科学力の評価に関する調査研究 - 小学校音楽科教育における学力保障の視点から -、音楽教育実践ジャーナル、査読有、Vol.10 No.1、2012、78 - 89、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、松永洋介、中村隆夫、山崎俊宏、岐阜県におけるふしづくりの音楽教育成立の軌跡、音楽教育学、査読無、42巻2号、2012、72 - 76、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、中村隆夫、伊藤真、昭和10年代~20年代の岐阜県高山市における中村好明の音楽教育改善の試み、音楽学習研究、査読有、8巻、2012、1 - 12、

DOI: なし

三村真弓、吉富功修、信州大学附属松本小学校における音楽の基礎能力診断調査(昭和43年度)に関する研究、教育学研究紀要(CD-ROM版)、査読無、58巻、2012、434 - 439、

DOI: なし

吉富功修、三村真弓、島根県教育委員会編『小学校・中学校音楽科能力表(試案)(昭和27年度)』に関する研究 - 小学校を中心として -、教育学研究紀要(CD-ROM版)、査読無、58巻、2012、428 - 433、

DOI: なし

[学会発表](計 20件)

吉富功修、『読譜指導に関する研究』(昭和40年)に関する研究、日本音楽教育学会中国四国地区例会、平成26年度、2015年02月28日、岡山大学、

三村真弓、吉富功修、1960年代の小学校音楽科における基礎能力観に関する研究 - 東京教育大学附属小学校に着目して -、中国四

国教育学会、66回、2014年11月16日、広島大学、

吉富功修、三村真弓、伊藤真、井本美穂、わが国の音楽科教育における学力観、中国四国教育学会、66回、2014年11月16日、広島大学、

吉富功修、三村真弓、伊藤真、「ふしづくりの教育」における授業の実際 - 第3学年の授業を中心として -、日本音楽教育学会、45回、2014年10月26日、聖心女子大学、

三村真弓、ロサリオ・マルティネス、アナ・ファレス、吉富功修、伊藤真、ジュゼプ・フェラン・ガリシア、子どもが育つ音楽教育 - スペイン・カタルーニャ州グラノリエース市のペラアントン校における実践 - 日本音楽教育学会、45回、2014年10月26日、聖心女子大学、

吉富功修、三村真弓、伊藤真、井本美穂、わが国の音楽科における共通教材に関する研究 - 中学校音楽科における《モルダウ》を視点として -、日本教科教育学会、40回、2014年10月12日、兵庫教育大学ハーバーランドキャンパス、

Mayumi MIMURA, Katsunobu YOSHITOMI, Shin ITO, Miho IMOTO, Sachiko KITANO, Kyoko MINE, Music Education for Preschool Children in Escola Pereanton Spain, The 15th Pacific Early Childhood Education Research Association Annual Conference, 2014年08月09日、Inna Grand Bali Beach-Sanur, Bali、

吉富功修、三村真弓、伊藤真、「ふしづくりの教育」における授業の実際 - 第4学年(滝上定江教諭)の授業を中心として -、音楽学習学会、8回、2014年07月26日、埼玉大学、

吉富功修、『こどものうた200』に掲載されている《しゃぼん玉》に関する研究、日本音楽教育学会中国四国地区例会、平成25年度、2014年03月15日、鳴門教育大学、

三村真弓、吉富功修、中村好明の教材構成観の変遷 - 『音楽のおけいこ』『そうさくのおけいこ』『ふしづくりのおけいこ』の分析を通して -、日本教科教育学会、39回、2013年11月23日、岡山大学、

三村真弓、吉富功修、伊藤真、田中教育研究所音楽研究部編『音楽素質診断テスト』に関する研究、中国四国教育学会、65回、2013年11月03日、高知工科大学、

吉富功修、三村真弓、伊藤真、幼児の歌唱の実態に関する研究(1) - 高岡市国吉光徳保育園でのクラス歌唱を対象として -、中国四国教育学会、65回、2013年11月03日、高知工科大学、

三村真弓、吉富功修、伊藤真、昭和30年代~50年代の岐阜県飛騨地方における中村好明の音楽教育観の変遷、音楽学習学会、9回、2013年08月19日、茨城大学、

三村真弓、吉富功修、信州大学附属松本小学校における音楽の基礎能力診断調査(昭和43年度)に関する研究、中国四国教育学会、

64回、2012年11月11日、山口大学、  
吉富功修、三村真弓、島根県教育委員会編『小学校・中学校音楽科能力表(試案)(昭和27年度)』に関する研究 - 小学校を中心として -、中国四国教育学会、64回、2012年11月11日、山口大学、  
吉富功修、三村真弓、岐阜県古川小学校の「ふしづくりの一本道」を支えた中家一郎校長の教育観、日本教科教育学会、39回、2012年11月03日、東京学芸大学、  
三村真弓、吉富功修、松永洋介、中村隆夫、山崎俊宏、岐阜県におけるふしづくりの音楽教育成立の軌跡、日本音楽教育学会、44回、2012年10月08日、東京音楽大学、  
吉富功修、三村真弓、伊藤真、幼稚園児を対象とした高さの異なる3種類の調による練習の効果、国際幼児教育学会、33回、2012年09月29日、函館短期大学・函館大学、  
三村真弓、吉富功修、昭和20年代~30年代の岐阜県高山市における音楽教育改善の試み - 中村好明の活動を中心に -、音楽学習学会、8回、2012年08月28日、関西学院大学梅田キャンパス、  
Mayumi Mimura, Katsunobu Yoshitomi, Shin Ito, Yuya Sakai, Ryo Hasegawa, Early Childhood Music Education in Hungary: Focusing on Transition from Kindergarten to Elementary School, The 13th Pacific Early Childhood Education Research Association Annual Conference, 2012年06月22日, National Institute of Education Nanyang Technological University, Singapore,

〔図書〕(計1件)

編著者：吉富功修、三村真弓。著者：荒木由美、伊藤真、井本美穂、上野智子、大野内愛、緒方満、河邊昭子、小長野隆太、近藤裕子、管裕、曹念慈、高見仁志、田中健次、寺田貴雄、福島さやか、藤原志帆、峯恭子、FERRAN GALICIA JPSEP、他9名、ふくろう出版、小学校音楽教育法 - 学力の構築をめざして -、2015、241、

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：  
発明者：  
権利者：

種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉富 功修 (YOSHITOMI Katsunobu)  
広島大学・教育学研究科・名誉教授  
研究者番号：20083389

(2) 研究分担者

三村 真弓 (MIMURA Mayumi)  
広島大学・教育学研究科・教授  
研究者番号：00372764

伊藤 真 (ITO Shin)  
広島大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号：70455046

緒方 満 (OGATA Mitsuru)  
比治山大学・現代文化学部・教授  
研究者番号：20512297

水崎 誠 (MIZUSAKI Makoto)  
東京学芸大学・教育学部・准教授  
研究者番号：50374749

藤原 志帆 (FUJIHARA Siho)  
熊本大学・教育学部・准教授  
研究者番号：20381022

小長野 隆太 (KONAGANO Ryuuta)  
鈴峯女子短期大学・保育学科・准教授  
研究者番号：60452603

河邊 昭子 (KAWABE Akiko)  
兵庫教育大学・学校教育学研究科・准教授  
研究者番号：80584862

(3) 連携研究者

( )

研究者番号：